

# ⑥ 超高齢社会における「郡山版MaaS」モデル創出プロジェクト

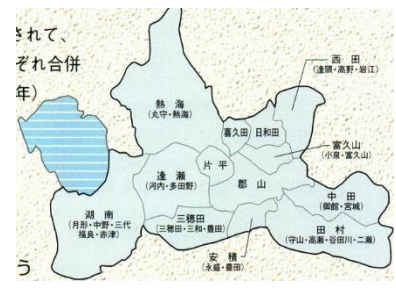
## メンバー

**実施者** : 郡山観光交通株式会社  
**連携団体** : 郡山市、福島交通株式会社、福島大学、(株)プレイノベーション、  
                  ジオルダン (株)

## 活動目的

超高齢社会になり、高齢者の事故が社会課題となっている。地方はまだまだ車を運転しないと生活できない。そんな中、モビリティ・サービスの選択肢を拡げることにより、自動車の運転可否に関わらず、通院や買物といった必需の活動から、「楽しいおでかけ」ができる地域づくりを目指す。タクシーの定期券を核として、バスとの連携、契約申込・運行申込・ルート作成のアプリ化をする「郡山版MaaS」を構築し、地方版生活型MaaSのモデルとなることを目指す。

**対象地域** : 福島県郡山市安積町/  
                  三穂田町  
**人口** : 安積町約34,000人  
          三穂田町約4,600人



## 取り組み内容

**キーワード** : タクシーの定期券 (エリア内乗り放題によるサブスクリプション) / IT活用 / 相乗り

- ①調査研究 : 福島県郡山市安積町での利用者を対象にしたヒアリング調査、アンケート調査を実施予定であったが、コロナ過における状況で実施できなかった。
- ②サービス詳細検討 : 本サービスの実証実験を通じて、オペレーションや料金体系等の改善を検討した。
- ③試験運行 : アナログ (紙媒体) による、定額タクシーの実証運行を展開。R3.3末時点で、会員総数30名、利用総回数865回。実証運行のスタートは遅れたが、6か月を経て順調に認知度が上がった。
- ④MaaSアプリの研究開発 : 開発テスト段階から、実際の運用現場でのテストを目指す。

## 2020年度の活動実績

- ①定額タクシーの実証実験 : 2020年10月から2021年3月、述べ利用者数38名、総利用回数613回。後半は月平均利用人数約20名、一人当たり利用回数約19回まで実績が上がった。
- ②この指とまれ方式(会員制相乗り)実証実験 : 2020年10月から2021年3月、述べ利用者数26名、総利用回数201回。まだ利用者数が少なく相乗り利用までは至らず。



## 取り組みが地域に与えた影響

- ・安積町乗り放題(1万円) : 16名の利用者登録、9名が継続利用、最長10か月分申込あり。1か月のみ利用5名、2か月のみ2名。
- ・市内乗り放題(33千円) : 3月にはじめて1名利用。4月以降も継続利用中。
- ・回数券 : 販売実績は合計26セット282回分。そのうち3月末までに201回利用済み。エリア内移動利用 : 24回、エリア外への移動 : 177回。安積町内乗り放題と回数券でエリア外への移動をして使い分けている利用者も出てきた。
- ・地域内での認知度が上がり、問い合わせが増えている。
- ・家族内で80歳を超えた方の免許返納を説得する材料として、安積町定額乗り放題を利用していただいたケースがあった。
- ・利用者の声 : 「家族に負担をかけずに自分のペースでお出かけできるのが良いです。」「免許返納し、娘たちが安心しているので、楽しんでお出かけ出来ます。」「近い距離でも気兼ねなく頼めるのも良かったので、思い切って免許返納しました。」

## 取り組みで得た知見 (これから取り組む方に伝えたいこと)

新しい仕組み・取り組みは認知度が上がるまで時間がかかるので焦らずに地道に伝えていくことが大事だと思った。地方はチラシで理屈を伝えても反応は薄い。やはり口コミが一番。地域のキーマンとの連携が欠かせない。

## 専門家コメント\_福島大学

- ・定額タクシーの実証は、価格や対象区域を試行錯誤しながら、実証を続けてきた。会員数、稼働回数とも上昇基調にあり、地域住民と対話しながら、新たな市場を創りあげつつある点は、地方部のタクシー産業に良いインパクトを与えるだろう。
- ・利用者に対し、定額タクシーの料金体系等丁寧な説明をしっかりと行い、利用者との対話を通じた取り組みがベースにある。まちづくりの基本を押さえた点が素晴らしいと言える。